

第12回 JCHO高岡ふしき病院地域協議会

日時 令和3年 2月18日(木) 15時00分
場所 JCHO 高岡ふしき病院2階会議室
各委員 医師会：一般社団法人 高岡市医師会監事
 たみの医院 院長 民野 均
行政：高岡市福祉保健部健康増進課長
 ・保健センター所長 山本 美由紀
地域：公益社団法人富山県アイバンク理事長
 JCHO高岡ふしき病院支援の会 会長 大黒 幸雄
病院：高岡ふしき病院 院長 高嶋 修太郎
 同 副院長 宮崎 幹也(欠席)
 同 副院長 和田 攻
 同 看護部長 田井 雅代
 同 事務長 木下 敦士

内 容

高嶋院長から、第12回地域協議会開催の挨拶があり、協議会の開催趣旨(独立行政法人地域医療機能推進機構協議会設置要綱第5条)により、高嶋院長が議長となり議事に入った。

議 事

1、協議事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策について
- (2) 高岡ふしき病院の収支状況 ～12月診療分までの試算
- (3) 各委員からの意見

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策について

高嶋院長

当院では現在PCR検査は抗原と定量の2つの検査ができます。当院の立場は高岡市の4つの公的病院のうち、中核は高岡市民病院が積極的に陽性患者を受け入れ、当院を含めた他の3つの病院は協力する立場にあります。高岡市民病院が満床となった場合は陽性患者を引き受けるために3床の病床を確保しています。今年の1月の第3波では、急に高岡市民病院の入

院患者が増えたので、院長会議が招集され公的病院に対して早急に入院受け入れの準備をしてほしいとの要請がありました。その後入院患者が増えませんでしたので、実際に当院に受け入れはありませんでした。当院の発熱外来で診療した患者で陽性となり高岡市民病院に入院した事例もありましたが、外来対応での職員の感染予防対策はできていたので、院内での発症はありませんでした。現在の対策の状況です。一番の問題はワクチン接種です。昨年12月に厚生労働省からJCHO本部に依頼があり、JCHO本部から調査研究への参加確認の通知がありました。100人～200人が受ける施設を調査対象としており当院は該当したため参加の回答をしました。1月18日に100病院が決まりました。その後2月下旬に先行接種をするとしていましたが、ワクチンは承認されていない、調査研究の詳細が決まっていない、V-SYSといったシステムがわからない、何もない状態でした。その時の情報は学術論文しかなく、海外で認可された時のデータしかありませんでした。2月3日に職員に対して、ワクチンの有効性（95%が有効であること）や副反応（痛み、腫れ、頭痛、倦怠感がみられる場合があるが、1日から2日で消えること）を説明しました。アナフィラキシーは20万人に一人でインフルエンザワクチンと同様に極稀です。そのような内容を職員に周知したうえで職員から同意を取ったところ接種を希望する人が9割以上になりました。その後準備をすすめて、副反応が強かった場合や発熱した場合に備えてできるだけ休日前に行う、発熱した場合に解熱鎮痛剤を処方するといったことを説明し、安心して接種できることを職員に説明しました。関係者にて手順書を作成し、当初2月26日開始予定でしたが、政府の意向により開始日を1週間早くしました。本日ワクチンが到着し明日から接種を開始します。報道関係者の取材があり、地域の自治体や医療機関が見学に来られます。先行接種を引き受けましたので、できるだけ多くの方が接種されて集団免疫ができて新型コロナウイルスの収束につながることを目標に、責任をもって先行接種を行いたいと思います。当院は基本型接種施設として、まず地域の医療従事者、その次に65歳以上の高齢者、一般の住民が接種できるように協力していくことになります。以上が新型コロナウイルスへの対応に関する現状です。

民野委員（高岡市医師会監事）

ワクチンは何本入りましたか。

高嶋院長

1箱に195バイアルで1170回分です。

民野委員（高岡市医師会監事）

注射器について報道されているがどのようなものを使用されますか。

高嶋院長

特殊なものを用意し6回分取れます。

民野委員（高岡市医師会監事）

職員218人を何日に分けて打ちますか。

高嶋院長

4日に分けて、金曜日は2回あります。

民野委員（高岡市医師会監事）

一人あたり15分くらい観察するとありますが控えている場所はどうなりますか。

高嶋院長

ロビーで待機するようにしています。診察室で接種してロビーで待機して確認します。スムーズに行えるよう昨日シミュレーションを行いました。接種に一人に1分程度とみています。15人程度の席があればよいと思います。

民野委員（高岡市医師会監事）

注射器等を考慮して接種の人数は予測しているのですか。

高嶋院長

手順書を作成して対応します。当院は調査研究を行いますので、たくさんの配布資料も準備しました。

民野委員（高岡市医師会監事）

アレルギーの心配がある方への対応はどのようにされますか。

高嶋院長

心配な方は30分待機してもらい程度です。アレルギー反応があるから接種がダメとうわけではありません。ポリエチレングリコールといった特殊な物質にアレルギーがある方以外は大丈夫です。明らかにアナフィラキシーの既往がある人は接種を遠慮して頂きます。

民野委員（高岡市医師会監事）

インフルエンザでも腫脹がありますが、その日に起こるわけではありません。どのように対応されますか。

高嶋院長

欧米では既に数千万の人が接種しています。その中で重篤な副反応の報告はされていません。腫脹は1日か2日で改善するので心配することはないと思います。発熱をした場合に頓用で解熱鎮痛剤を処方します。それで効かなければ受診していただきます。

民野委員（高岡市医師会監事）

鎮痛剤の費用負担はどうなっていますか。

高嶋院長

国の研究費で賄われます。

民野委員（高岡市医師会監事）

鎮痛剤は200mgを2錠ですか。

高嶋院長

そうです。当院では200mg錠を使用しています。今回は研究費になりますが、今後の医療従事者や65歳以上の人の接種の際はまだ決まっていないと思います。先行接種のデータが集められて結果が出ないと対応が決まらないのではないかと思います。ワクチン接種についてはトラブルなくスムーズに行われて、感染予防につながることを目標です。不安感をあおって接種者が減るのはよくありません。

民野委員（高岡市医師会監事）

2回目は3週間後に打つわけですね。

高嶋院長

はい。2回接種することで、免疫力が増強し、海外の報告ではかなりの効果が期待できます。

民野委員（高岡市医師会監事）

訪問診療をされていますが、そのような方の接種はどのようにになりますか。

高嶋院長

通院ができない在宅の患者さんについてはまだ具体的な対応がわかりません。現在の段階の対応は難しいですが、回答できません。

民野委員（高岡市医師会監事）

訪問診療に行きましたが、患者からどうするのかといった声がありました。

高嶋院長

開業医の先生のところでの接種が可能になれば出張接種も出来ると思います。ワクチンの管理が細かく決められているのでかなり計画的にやらないといけません。当院の接種は人数も接種日もわかって行うので計画的に行えますが、予約をして接種する必要があると思います。ワクチンを分配していくところのシステムの構築も大変だと思います。

（2）高岡ふしき病院の収支状況 ～12月診療分までの試算

木下事務長

4月から12月診療分までの収支については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により患者数の減少の影響及び、健診については一定期間中断した事により、前年度対比約8,400千円の減収となっています。入院診療単価については前年度よりも増えている、急性期病棟から包括ケア病棟への最適な転棟を行ったこと、施設基準の取得を行ったことが要因です。今後について、地域包括ケア病棟における夜間看護配置加算や看護補助加算の届出を行い年間40,000千円の収益増を見込む計画を立てています。またこの1年間で常勤医師の退職が3名ありましたが、4月から常勤医1名を富山大学より充当していただけます。内視鏡や健康管理センターの患者数や受診者の増を図っていき、病病連携を行い、多くの紹介患者を受けて以前の体制に近づけていきたいと考えています。

（3）各委員かからの意見

民野委員（高岡市医師会監事）

受診率や患者数は減っているのですね。

木下事務長

入院患者は1月、2月は増加傾向にあります。外来患者はなかなか増加していません。

高嶋院長

新型コロナウイルスの影響を受けたことと医師が減ったことが大きな要因になっています。

民野委員（高岡市医師会監事）

インフルエンザの患者はありますか。

高嶋院長

今年はゼロです。

民野委員（高岡市医師会監事）

人が移動しないことが影響しているのでしょうか。

山本委員（高岡市福祉保健部健康増進課長）

みなさんがマスクをしたり消毒をしたり感染予防を徹底しています。

高嶋院長

小児科の患者さんも少ないですね。

民野委員（高岡市医師会監事）

市の急患センターに出向しましたがゼロでした。これまでは10人から30に来ましたが、コロナの影響で患者が減っています。外科、小児科の患者はありましたが、内科は日曜日でも少ないです。人の移動がないと少ないと思います。私が開業している医院でも発熱した患者が来院できるように登録していますが、今日のような雪の日は車の中で対応するのが難しい。ゾーンの区別ができないので、熱の低い人は別室で診察できますが、熱の高い人は市民病院に診察してもらうようにしました。市民病院もいっぱいの方がおり時間が決まっていることもあります。そのような場合は紹介してもよいのでしょうか。

高嶋院長

当院も発熱外来で対応しています。ただし、休日や夜間は対応が難しいです。

民野委員（高岡市医師会監事）

平日なら大丈夫ですか。

高嶋院長

対応はできますが、電話で受診時刻を指定して患者が重ならないように対応することになります。

山本委員（高岡市福祉保健部健康増進課長）

ワクチン接種については市でも公的病院以外にクリニックの先生方にもお願いをして、ワクチンの供給や市民の要望を踏まえて集団接種の体制を構築しているところです。訪問の方や施設に入っている人もたくさんいるので、医師会にもお願いしていきます。住民への接種はサテライト型になりますが協力をいただければ訪問も可能だと思います。もう一つ、コロナ患者の陽性者のことですが、1月に入り動きがありましたが、病院では感染対策が徹底されています。感染対策を徹底し、クラスターにならない体制ができていることに感謝しています。住民へのワクチン接種が始まりましたらご協力をお願いします。

大黒委員（富山県アイバンク理事長）

患者の立場で意見を申し上げます。他の会合で話ができました。病院に行つてコロナ患者になるのがいやで病院に行くのを控えているとのこと。病院に行く人が少し減っていると思います。事例を出してもらいこんなのは大丈夫だというのがないとよいと思います。

高嶋院長

昨年の7月に患者が減った時に伏木健康だよりを出して安心して受診して下さいとアピールしましたがあまり増えませんでした。

大黒委員（富山県アイバンク理事長）

後ろ指をさされるのがいやなようです。自分がコロナにかかることよりもそのようなことが怖いようです。

和田副院長

当院では転倒予防教室などを行っていますが感染対策を徹底して少人数で行っているので安心してください。

大黒委員（富山県アイバンク理事長）

もう少し「心配するな」といったことを声をかけてくれるとよいと思います。みなさんが我慢している感じがあります。

民野委員（高岡市医師会監事）

オゾン対応をしている紫外線照射といった機器など設置していればアピールしてもよいのではないのでしょうか。

高嶋院長

残念ですが、当院ではそのような機器を設置するのは難しいです。

田井看護部長

日中は換気をしています。発熱外来にはウイルス除菌のものはありますが、院内全体のものではありません。何かPRできるものがあるとよいですね。

和田副院長

入院患者が面会できなくなると高齢の方は精神的に心配なので、医師の了解があればリモートで面会ができるように対応しています。他の病院では聞かないので病院独自でやっていることになります。

大黒委員（富山県アイバンク理事長）

そういったことを知ると安心すると思います。

和田副院長

説明をした方がよい人には病棟の看護師から伝えるようにしています。入院患者の家族と全く会えなくなるのでタブレットで対応しています。

田井看護部長

ターミナルケアの方などに対応しています。

大黒委員（富山県アイバンク理事長）

そのような配慮がわかるとホッとすますね。個人にとっては大きな問題です。入院してこれで終わりにならないのでよいです。

木下事務長

ワクチンの先行接種が始まって医療従事者、高齢者、一般の方と接種して、これがどんどん広がっていけばそのような心配も早くなくなるのではと思

います。

これをもちまして今年度第2回目の地域協議会を終了いたします。
次回は7月頃に予定しています。
本日はありがとうございました。